

請願第 1 号


「組織的犯罪処罰法改正案」に反対する
市議会決議を要請する請願について

平成 29 年 6 月 5 日付けをもって、請願者 [REDACTED]
[REDACTED] から提出されたみだしの請願は、同日
受理したので、これを付議する。

平成 29 年 6 月 28 日

交野市議会議長 野 口 陽 輔

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請願第1号
受 理 年 月 日	平成29年6月5日
請 願 の 件 名	「組織的犯罪処罰法改正案」に反対する市議会決議を要請する請願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	
請 願 の 要 旨	<p>現在、国会において「組織的犯罪処罰法改正案」が審議されている。この法案は、過去三度にわたって廃案となった「共謀罪」を一部修正し、新たな組織的犯罪集団にかかわる実行準備行為を伴う計画の罪＝テロ等準備罪を新設しようとしている。これまでの国会論議等で、政府のいう「国連国際犯罪防止条約に加盟するため、共謀罪の新設は必要である」という答弁はマヤカシであることが判明している。また、テロ等準備罪は、適用対象が「恣意的なもの」ということも判明した。同時に、一般市民が共謀罪の捜査対象となることも指摘されている。そのため、そのような危険性のある「組織的犯罪処罰法改正案」に反対せざるを得ない。また、日本の刑法の根本原則である「罪刑法定主義」を逸脱するものであり、到底容認できるものではない。</p> <p>もしこの法案が実施されるようになれば、市民や正当な団体の活動は、戦前の治安維持法下にあった時代のように、制限され、萎縮していくことは想像に難くない。</p> <p>私たちが交野市民は、自由で公平・公正な政治および行政を求める権利があり、交野市議会としても市民のそのような思いを鑑み、「組織的犯罪処罰法改正案」に反対する決議を求めたい。以上請願する。</p>
紹 介 議 員	松村 紘子